

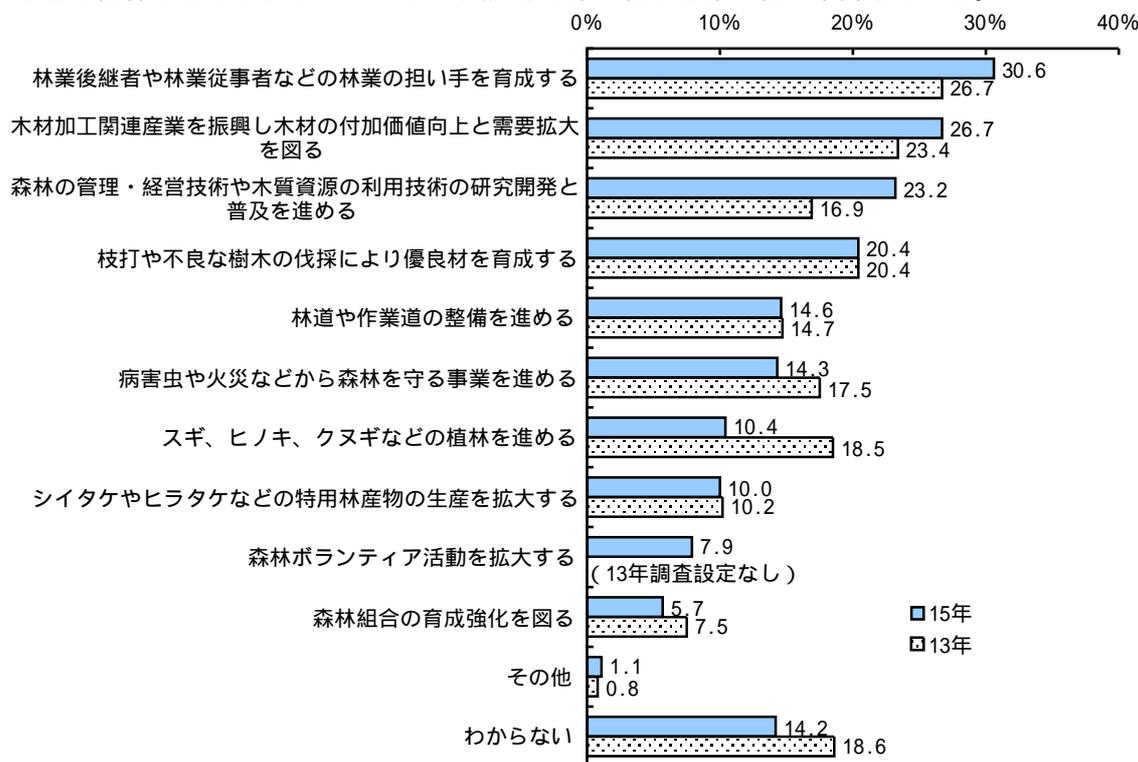
問20 林業対策

あなたは、県内の林業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。
(複数回答) (%)

1	枝打や不良な樹木の伐採により優良材を育成する	20.4
2	スギ、ヒノキ、クヌギなどの植林を進める	10.4
3	病虫害や火災などから森林を守る事業を進める	14.3
4	林道や作業道の整備を進める	14.6
5	森林の管理・経営技術や木質資源の利用技術の研究開発と普及を進める	23.2
6	林業後継者や林業従事者などの林業の担い手を育成する	30.6
7	森林ボランティア活動を拡大する	7.9
8	森林組合の育成強化を図る	5.7
9	シイタケやヒラタケなどの特用林産物の生産を拡大する	10.0
10	木材加工関連産業を振興し木材の付加価値向上と使用拡大を図る	26.7
11	その他	1.1
12	わからない	14.2

県内の林業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「林業後継者や林業従事者など林業の担い手を育成する」と答えた人の割合が30.6%と最も多く、以下「木材加工関連産業を振興し木材の付加価値向上と需要拡大を図る」(26.7%)、「森林の管理・経営技術や木質資源の利用技術の研究開発と普及を進める」(23.2%)などの順となっている。

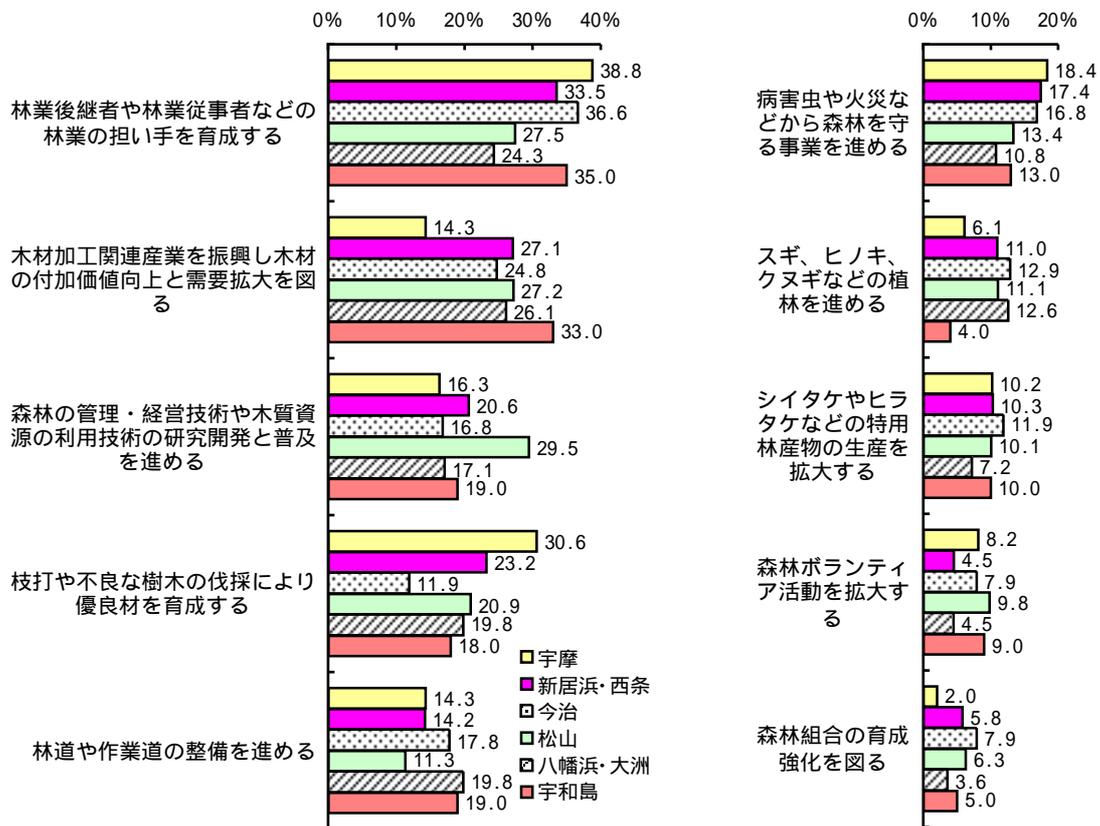
なお、前回調査結果と比較すると、「森林の管理・経営技術や木質資源の利用技術の研究開発と普及を進める」と答えた人の割合は6.3ポイント増加して第6位から第3位へ上昇し、「スギ、ヒノキ、クヌギなどの植林を進める」は8.1ポイント減少して第4位から第7位へ下降している。



【生活圏域別】

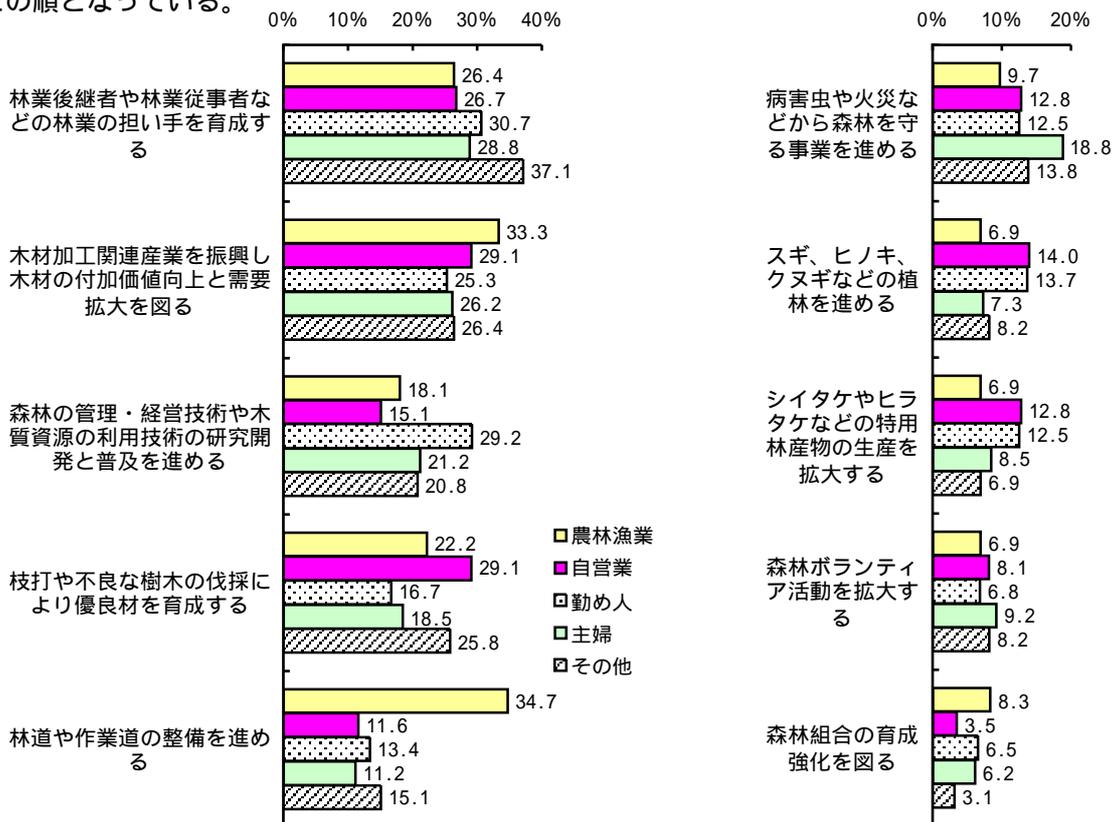
生活圏域別にみると、宇摩圏域、新居浜・西条圏域、今治圏域、宇和島圏域では「林業後継者や林業従事者などの林業の担い手を育成する」と答えた人の割合が、八幡浜・大洲圏域では「木材加工関連産業を振興し木材の付加価値向上と需要拡大を図る」が、松山圏域では「森林の管理・経営技術や木質資源の利用技術の研究開発と普及を進める」がそれぞれ最も多くなっている。

また、「枝打や不良な樹木の伐採により優良材を育成する」と答えた人の割合は宇摩圏域で、「林道や作業道の整備を進める」は八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域で、「病虫害や火災などから森林を守る事業を進める」は東予地方で、他の生活圏域と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別の内訳により、農林漁業者の意見をみると、「林道や作業道の整備を進める」と答えた人の割合が34.7%と最も多く、その割合も他の職業と比較しても特に多くなっており、以下「木材加工関連産業を振興し木材の付加価値向上と需要拡大をはかる」(33.3%)、「林業後継者や林業従事者などの林業の担い手を育成する」(26.4%)、「枝打や不良な樹木の伐採により優良材を育成する」(22.2%)などの順となっている。



問 2 1 森林対策

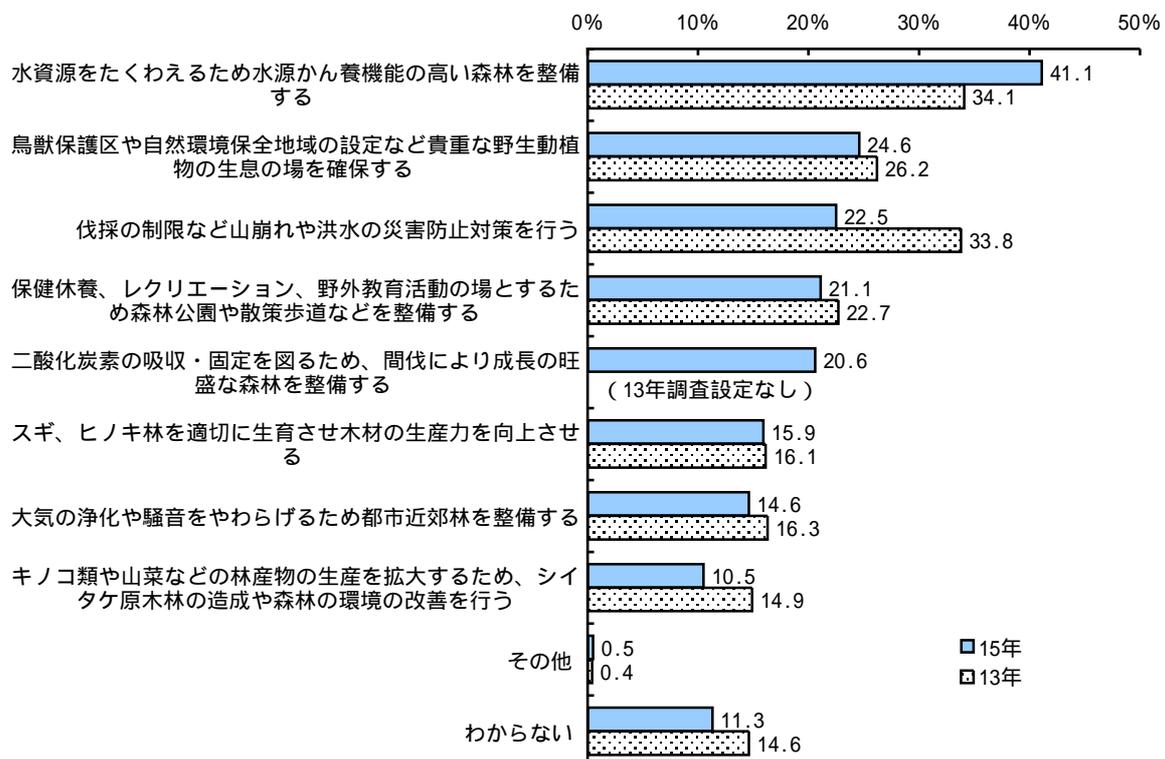
あなたは、県内の森林の整備を進めるにあたって、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

(複数回答) (%)

1	スギ、ヒノキ林を適切に生育させ木材の生産力を向上させる	15.9
2	水資源をたくわえるため水源かん養機能の高い森林を整備する	41.1
3	伐採を制限するなど山崩れや洪水の災害防止対策を行う	22.5
4	二酸化炭素の吸収・固定をはかるため、間伐により成長の旺盛な森林を整備する	20.6
5	大気の浄化や騒音をやわらげるため都市近郊林を整備する	14.6
6	保健休養、森林レクリエーション、野外教育活動の場とするため森林公園や散策歩道などを整備する	21.1
7	鳥獣保護区や自然環境保全地域の設定など貴重な野生動植物の生息の場を確保する	24.6
8	キノコ類や山菜などの林産物の生産を拡大するため、シイタケ原木林の造成や森林の環境の改善を行う	10.5
9	その他	0.5
10	わからない	11.3

県内の森林整備を進めるにあたって、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「水資源をたくわえるため水源かん養機能の高い森林を整備する」と答えた人の割合が41.1%と最も多く、以下「鳥獣保護区設定など貴重な野生動植物の生息の場を確保する」(24.6%)、「伐採の制限など山崩れや洪水の災害防止対策を行う」(22.5%)などの順となっている。

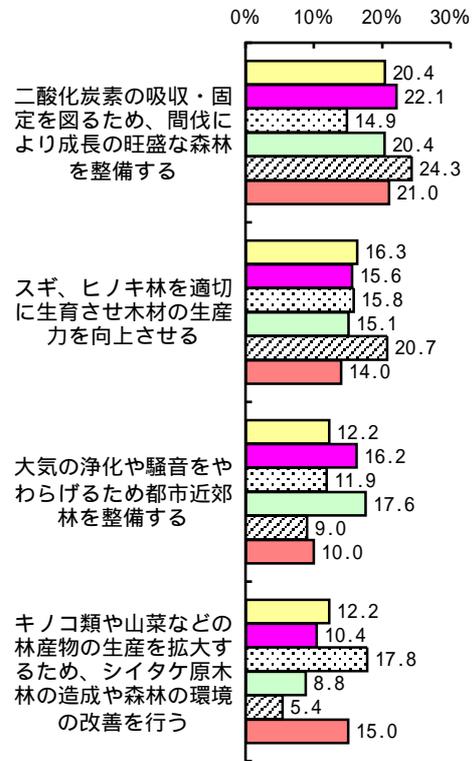
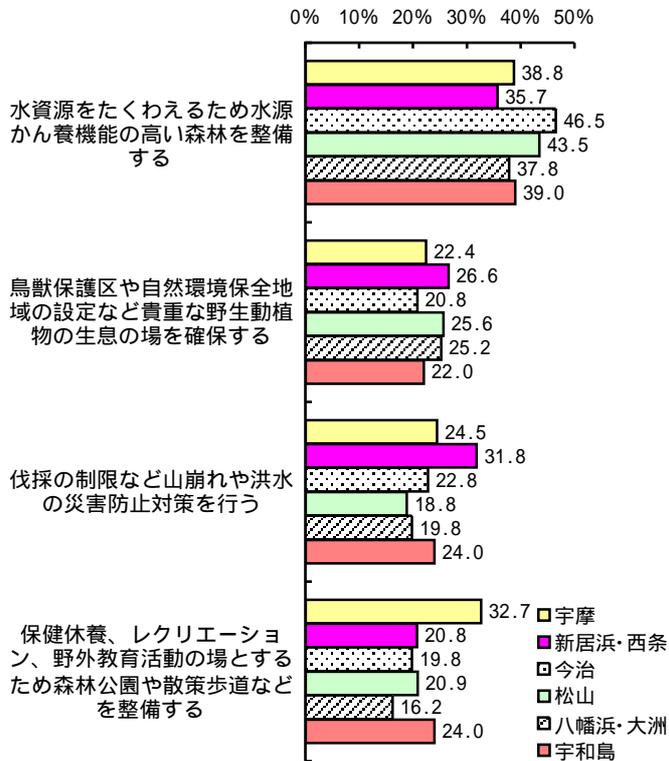
なお、前回調査結果と比較すると「水資源をたくわえるため水源かん養機能の高い森林を整備する」と答えた人の割合は7.0ポイント増加し、「伐採の制限など山崩れや洪水の災害防止対策を行う」は11.3ポイント減少している。また、新規項目の「二酸化炭素の吸収・固定を図るため、間伐により成長の旺盛な森林を整備する」は20.6%と第5位となっている。



【生活圏域別】

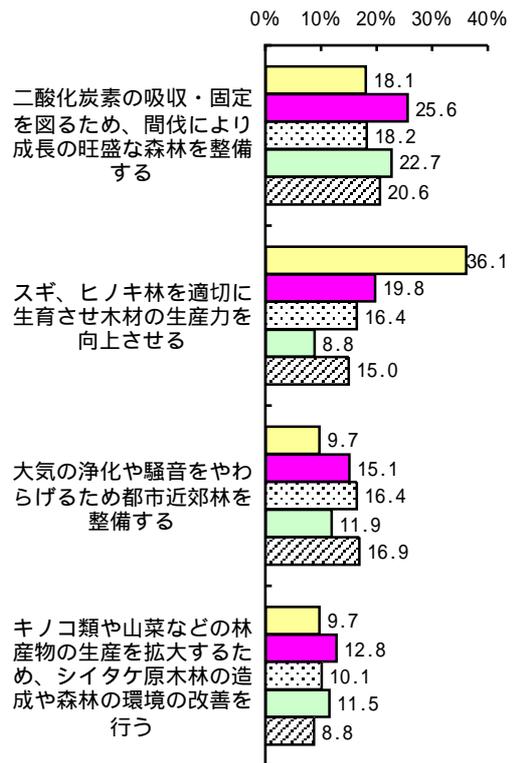
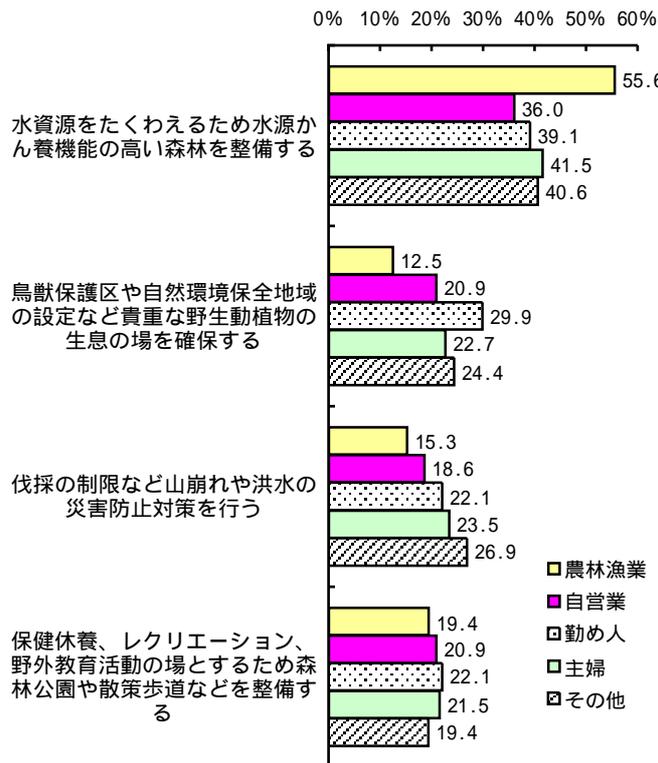
生活圏域別にみると、全ての圏域で「水資源をたくわえるため水源かん養機能の高い森林を整備する」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「伐採の制限など山崩れや洪水の災害防止対策を行う」と答えた人の割合は新居浜・西条圏域で、「保健休養、レクリエーション、野外教育活動の場とするため森林公園や散策歩道などを整備する」は宇摩圏域で、「二酸化炭素の吸収・固定を図るため、間伐により成長の旺盛な森林を整備する」は八幡浜・大洲圏域で、他の生活圏域と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別の内訳により、農林漁業者の意見をみると、「水資源をたくわえるため水源かん養機能の高い森林を整備する」と答えた人の割合が55.6%と特に多く、以下「スギ、ヒノキ林の造成など木材の生産力を向上させる」(36.1%)、「保健休養、レクリエーション、野外教育活動の場とするため森林公園や散策歩道などを整備する」(19.4%)、「二酸化炭素の吸収・固定を図るため、間伐により成長の旺盛な森林を整備する」(18.1%)などの順となっており、上位2項目では、他の職業と比較しても特に多くなっている。



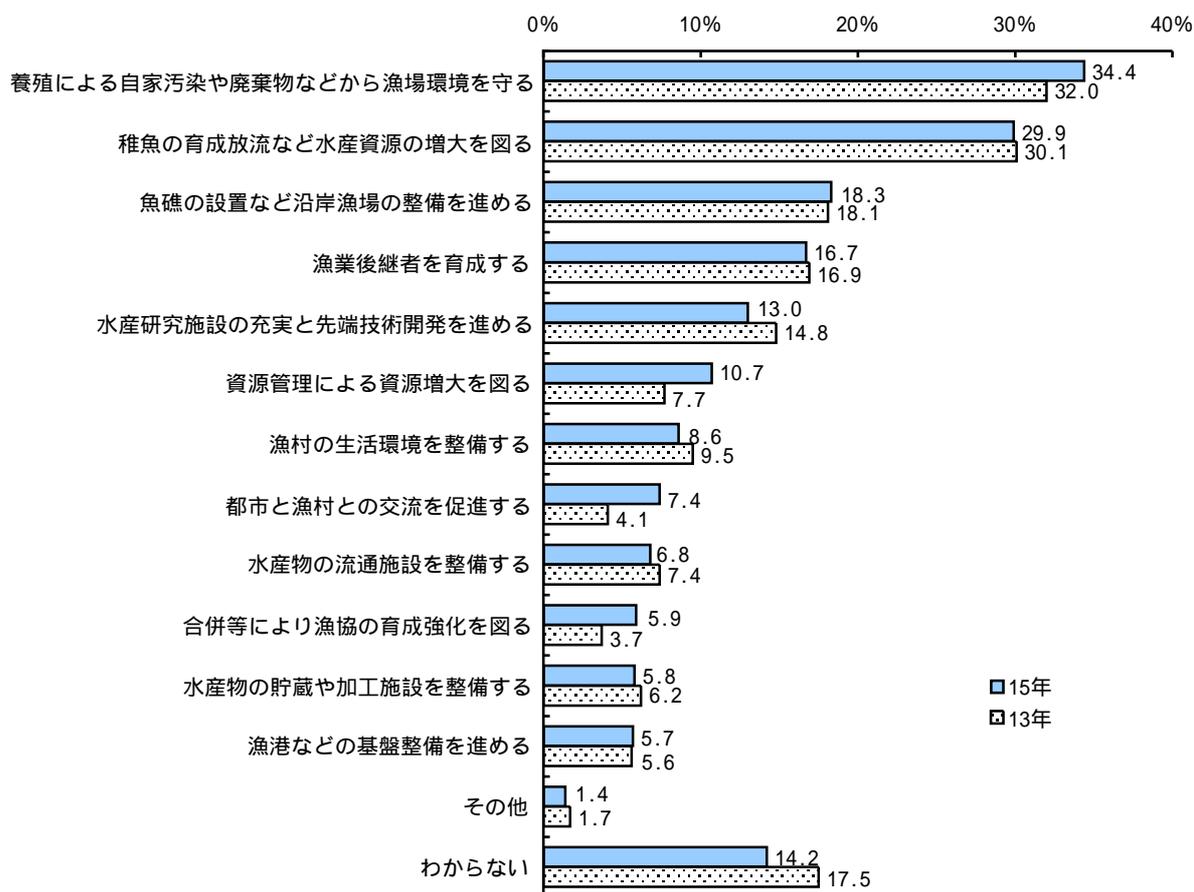
問 2 2 水産業対策

あなたは、県内の水産業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

	(複数回答)	(%)
1 魚礁の設置など沿岸漁場の整備を進める		18.3
2 稚魚の育成放流など水産資源の増大を図る		29.9
3 養殖による自家汚染や廃棄物などから漁場環境を守る		34.4
4 漁港などの基盤整備を進める		5.7
5 水産研究施設の充実と先端技術開発を進める		13.0
6 漁業後継者を育成する		16.7
7 合併等により漁協の育成強化を図る		5.9
8 漁村の生活環境を整備する		8.6
9 都市と漁村との交流を促進する		7.4
10 資源管理による資源増大を図る		10.7
11 水産物の貯蔵や加工施設を整備する		5.8
12 水産物の流通施設を整備する		6.8
13 その他		1.4
14 わからない		14.2

県内の水産業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「養殖による自家汚染や廃棄物などから漁場環境を守る」と答えた人の割合が34.4%と最も多く、以下「稚魚の育成放流など水産資源の増大を図る」(29.9%)、「魚礁の設置など沿岸漁場の整備を進める」(18.3%)、「漁業後継者を育成する」(16.7%)、「水産研究施設の充実と先端技術開発を進める」(13.0%)などの順となっている。

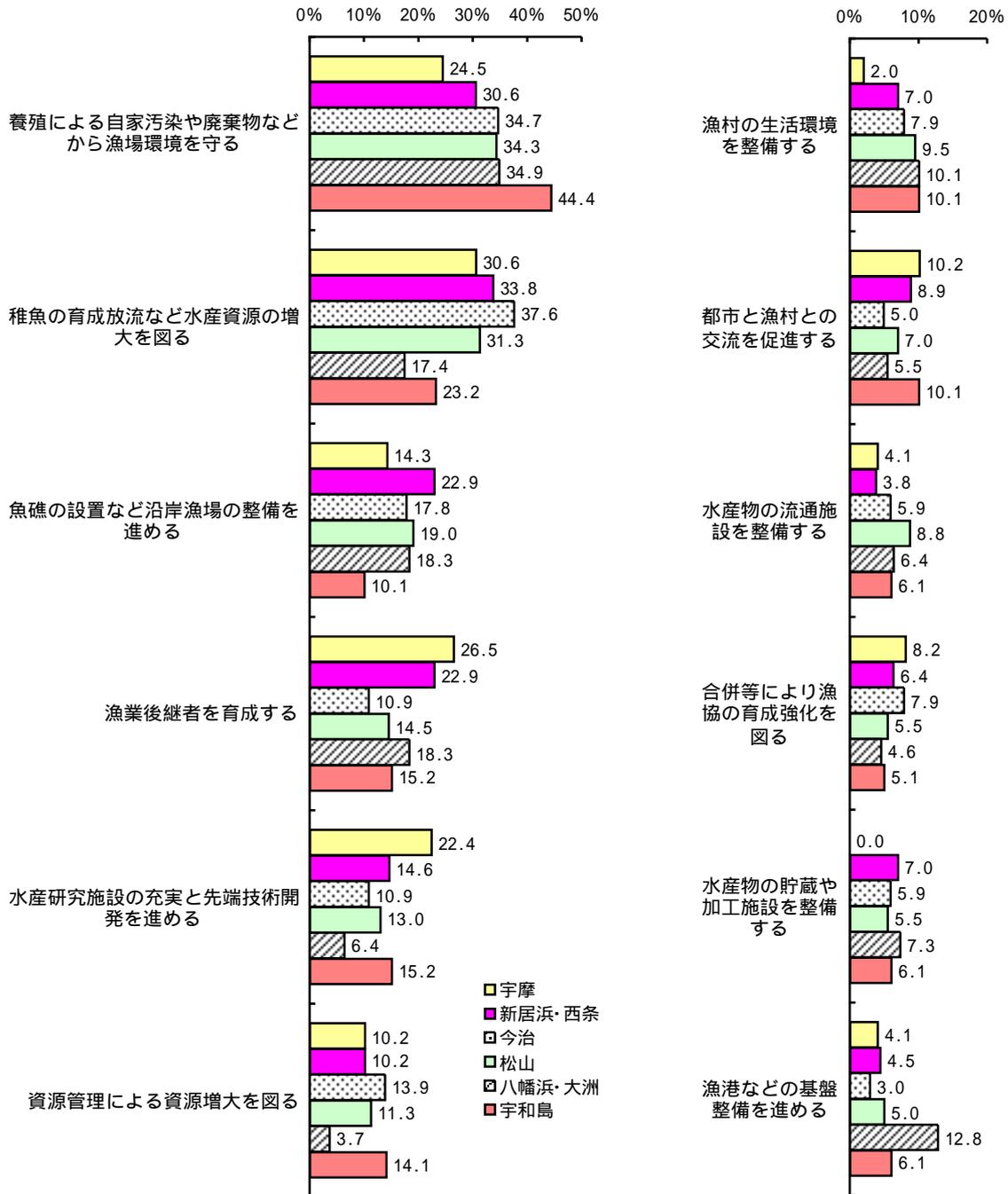
なお、前回調査結果と比較すると、「資源管理による資源増大を図る」と答えた人の割合が3.0ポイント、「都市と漁村との交流を促進する」が3.3ポイント増加している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域、新居浜・西条圏域、今治圏域では「稚魚の育成放流など水産資源の増大を図る」と答えた人の割合が、松山圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域では「養殖による自家汚染や廃棄物などから漁場環境を守る」と答えた人の割合が最も多く、中でも宇和島圏域（44.4%）で特に多くなっている。

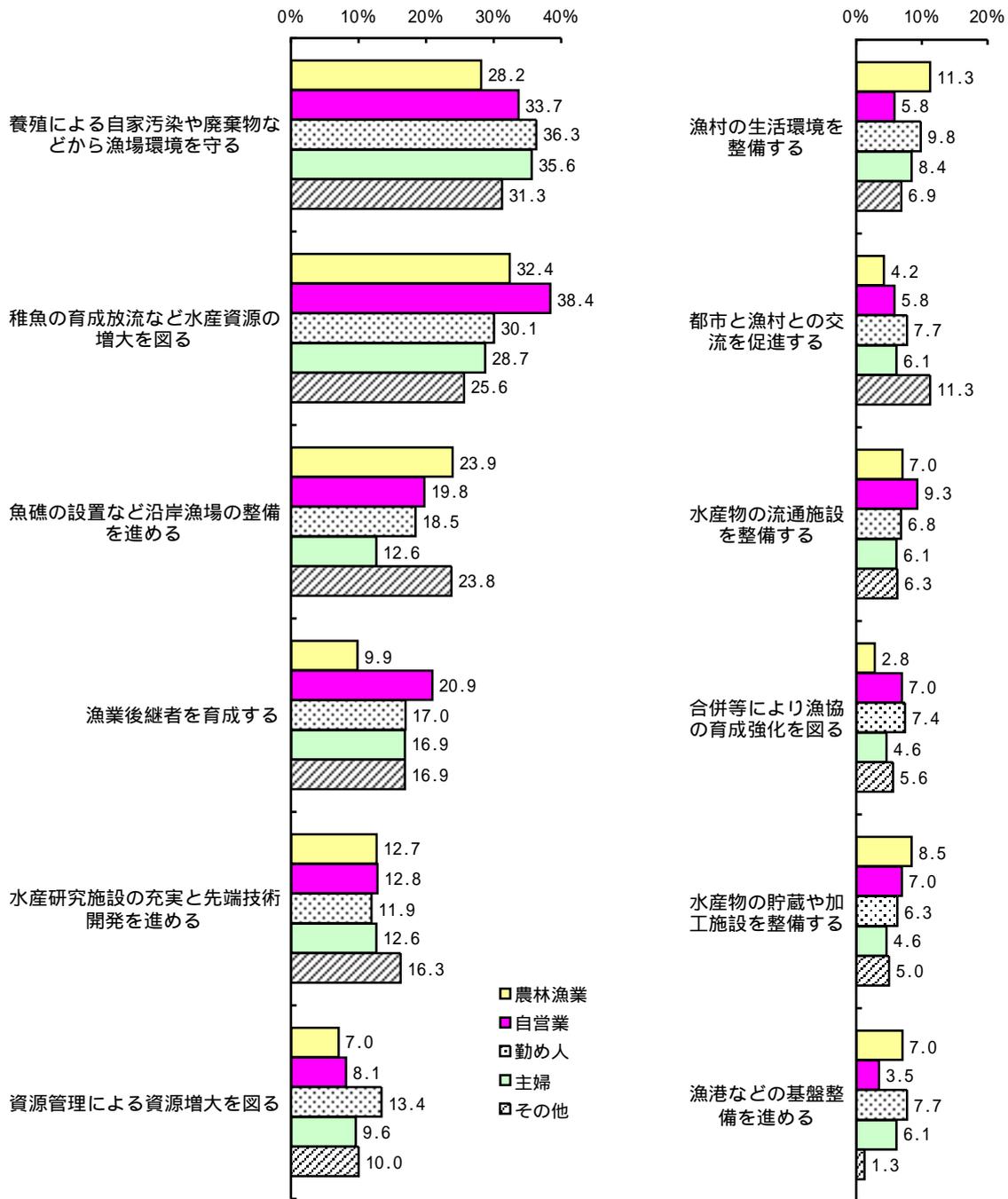
また、「魚礁の設置など沿岸漁場の整備を進める」と答えた人の割合は新居浜・西条圏域で、「漁業後継者を育成する」、「水産研究施設の充実と先端技術開発を進める」は宇摩圏域で、「漁港などの基盤整備を進める」は八幡浜・大洲圏域で、他の生活圏域と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別の内訳により、農林漁業者の意見をみると、「稚魚の育成放流など水産資源の増大を図る」と答えた人の割合が32.4%と最も多く、以下「養殖による自家汚染や廃棄物などから漁場環境を守る」(28.2%)、「魚礁の設置など沿岸漁場の整備を進める」(23.9%)、「水産研究施設の充実と先端技術開発を進める」(12.7%)の順になっている。

また、「漁業後継者を育成する」と答えた人の割合は他の職業と比較して少なくなっている。



問 2 3 商業対策

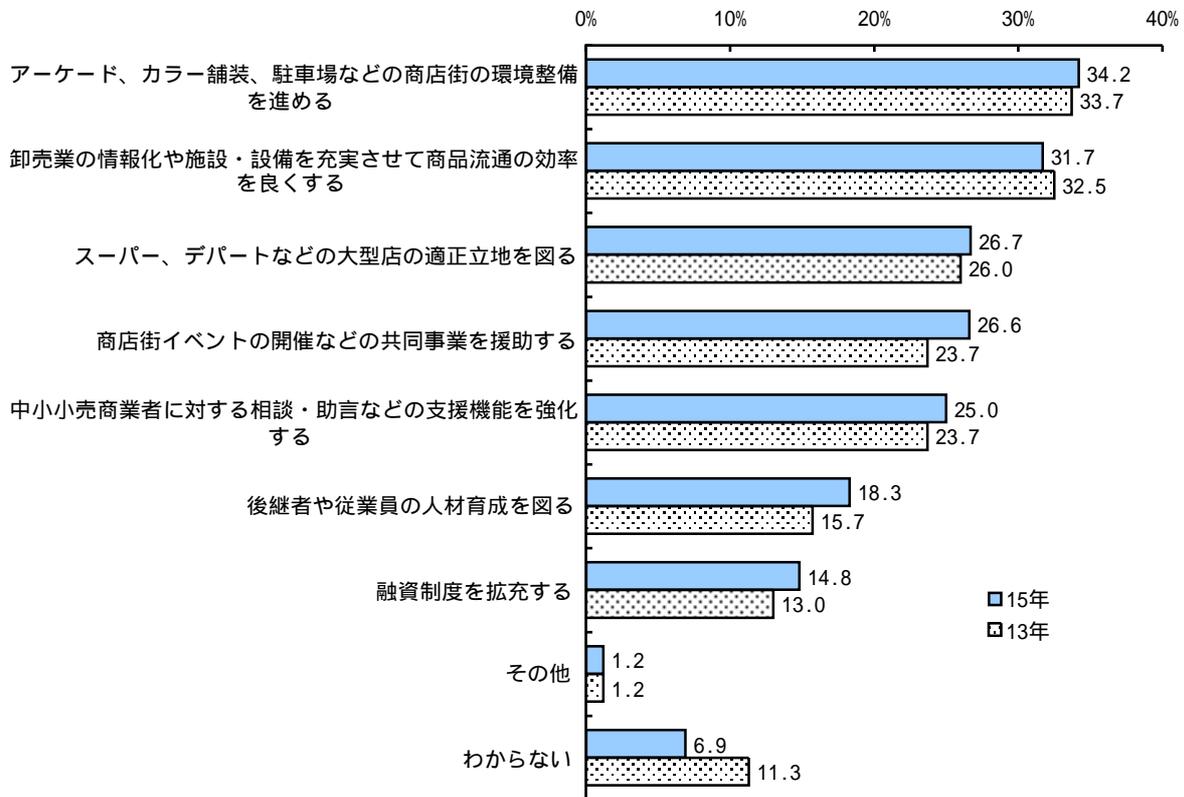
あなたは、県内の商業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

(複数回答) (%)

1	アーケード、カラー舗装、駐車場などの商店街の環境整備を進める	34.2
2	卸売業の情報化や施設・設備を充実させて商品流通の効率を良くする	31.7
3	スーパー、デパートなどの大型店の適正立地を図る	26.7
4	中小小売商業者に対する相談・助言などの支援機能を強化する	25.0
5	商店街イベントの開催などの共同事業を援助する	26.6
6	融資制度を拡充する	14.8
7	後継者や従業員の人材育成を図る	18.3
8	その他	1.2
9	わからない	6.9

県内の商業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「アーケード、カラー舗装、駐車場などの商店街の環境整備を進める」と答えた人の割合が34.2%と最も多く、以下「卸売業の情報化や施設・設備を充実させて商品流通の効率を良くする」(31.7%)、「スーパー、デパートなどの大型店の適正立地を図る」(26.7%)、「商店街イベントの開催などの共同事業に援助する」(26.6%)などの順となっている。

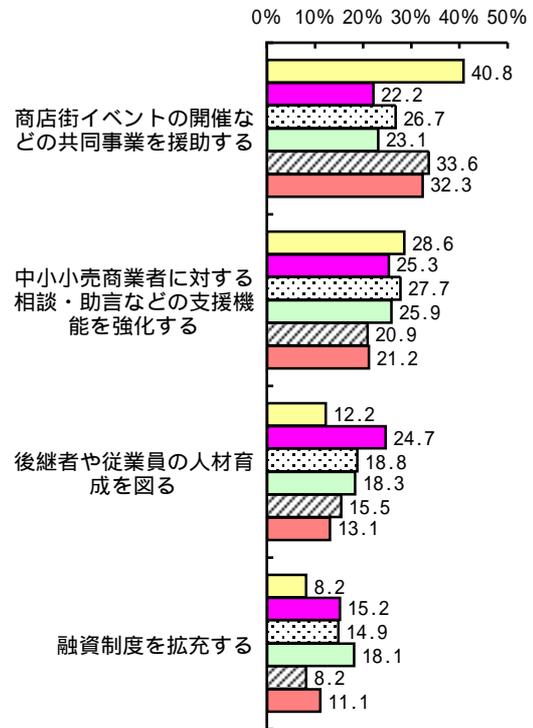
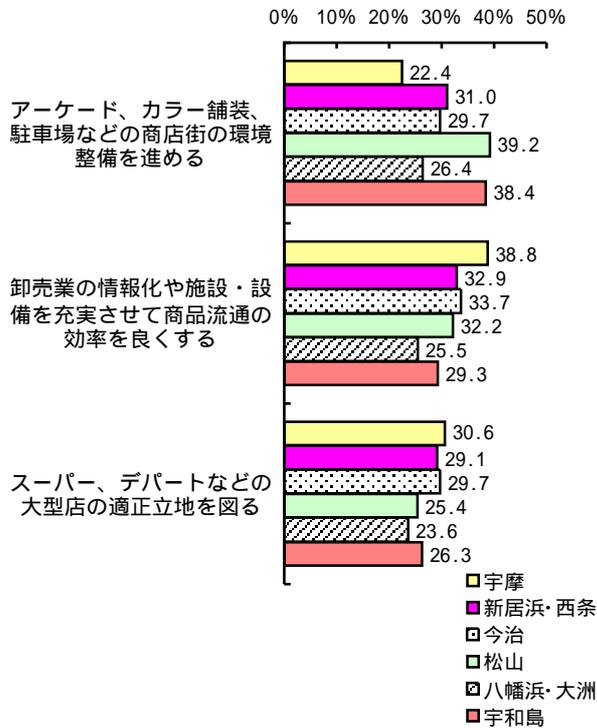
なお、前回調査結果と比較しても、割合に若干の変化は見られるが大きな変化は見られない。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域では「商店街イベントの開催などの共同事業に援助する」と答えた人の割合が最も多く、他の生活圏域と比較しても特に多くなっており、新居浜・西条圏域、今治圏域は「卸売業の情報化や施設・設備を充実させて商品流通の効率を良くする」と答えた人の割合が、松山圏域、宇和島圏域では「アーケード、カラー舗装、駐車場などの商店街の環境整備を進める」が最も多くなっている。

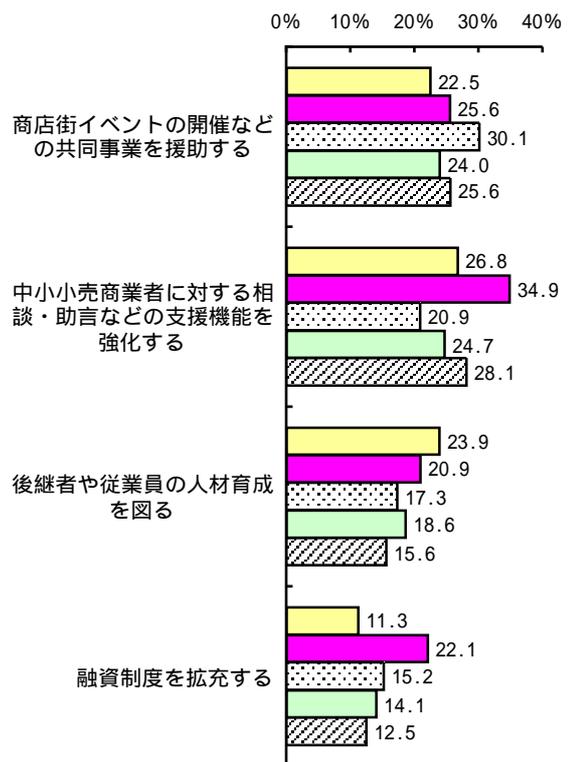
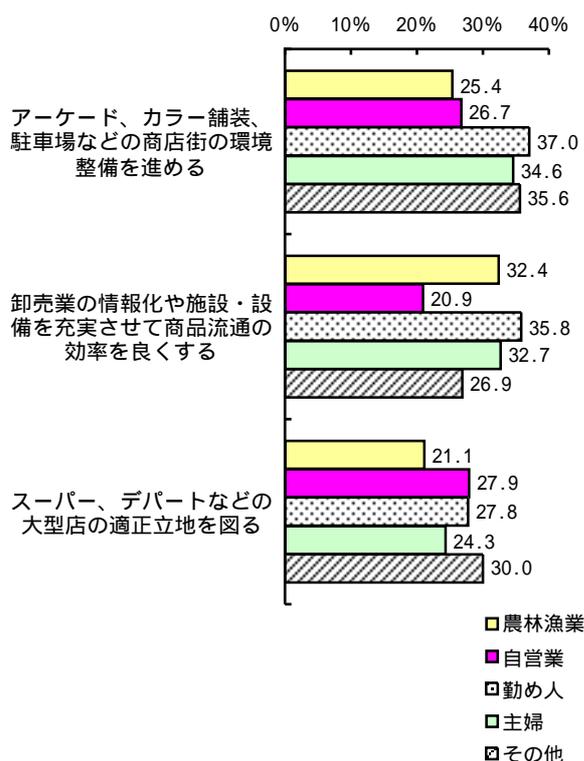
また、「卸売業の情報化や施設・設備を充実させて商品流通の効率を良くする」では宇摩圏域で、「後継者や従業員の人材育成を図る」は新居浜・西条圏域で、他の生活圏域と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別の内訳により、商業に最も関わりが深いと思われる自営業者の意見をみると、「中小小売業者に対する相談・助言などの支援機能を強化する」と答えた人の割合が34.9%と最も多く、次いで「スーパー、デパートなどの大型店の適正立地を図る」（27.9%）、「アーケード、カラー舗装、駐車場などの商店街の環境整備を進める」（26.7%）、「商店街イベントの開催などの共同事業を援助する」（25.6%）などの順となっている。

また、「中小小売業者に対する相談・助言などの支援機能を強化する」、「融資制度を拡充する」と答えた人の割合は自営業で他の職業と比較して特になくなってきている。



問 2 4 中小企業対策

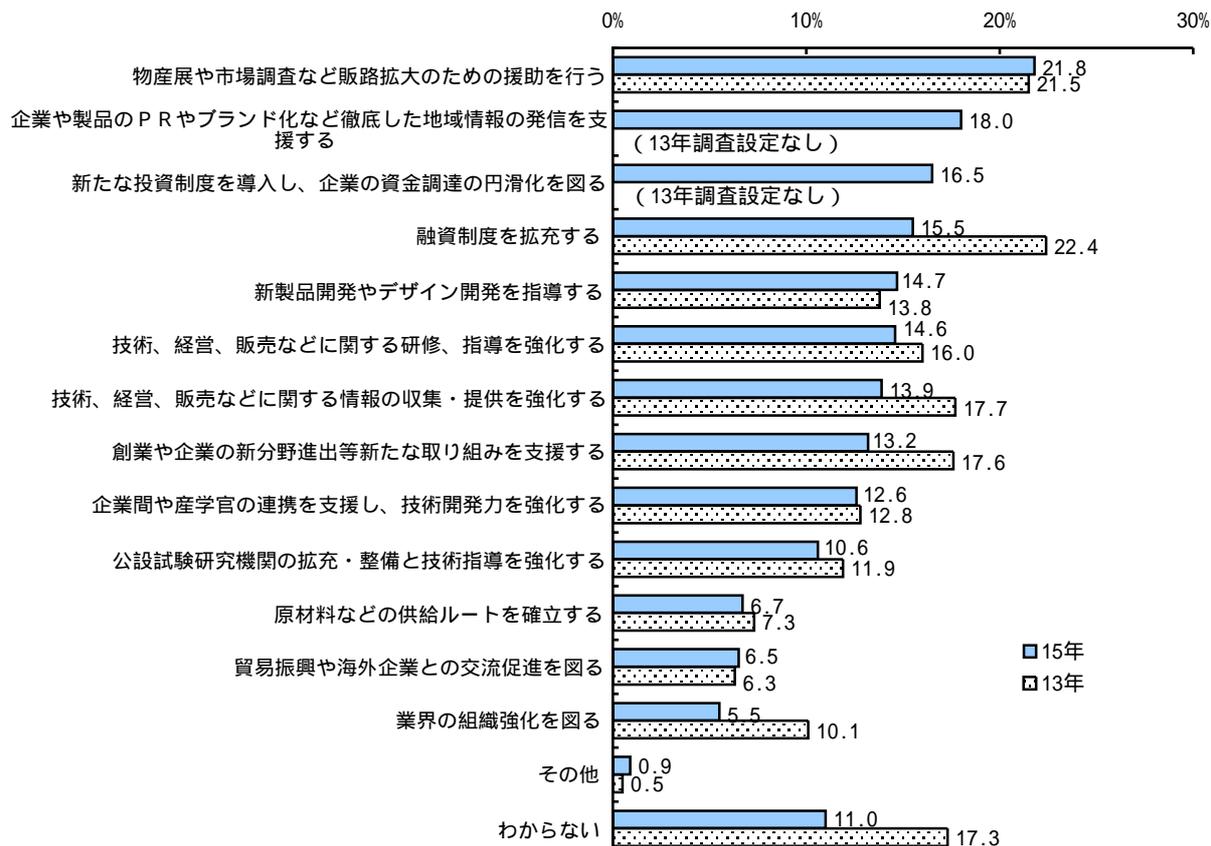
あなたは、県内の中小企業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

(複数回答) (%)

1	新製品開発やデザイン開発を指導する	14.7
2	公設試験研究機関の拡充・整備と技術指導を強化する	10.6
3	物産展や市場調査など販路拡大のための援助を行う	21.8
4	貿易振興や海外企業との交流促進を図る	6.5
5	原材料などの供給ルートを確立する	6.7
6	技術、経営、販売などに関する研修、指導を強化する	14.6
7	技術、経営、販売などに関する情報の収集・提供を強化する	13.9
8	企業や製品のPRやブランド化など徹底した地域情報の発信を支援する	18.0
9	融資制度を拡充する	15.5
10	新たな投資制度を導入し、企業の資金調達の円滑化を図る	16.5
11	業界の組織強化を図る	5.5
12	企業間や産学官の連携を支援し、技術開発力を強化する	12.6
13	創業や企業の新たな分野進出等新たな取り組みを支援する	13.2
14	その他	0.9
15	わからない	11.0

県内の中小企業をもっと盛んにするためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「物産展や市場調査など販路拡大のための援助を行う」と答えた人が21.8と最も多く、新規2項目の「企業や製品のPRやブランド化など徹底した地域情報の発信を支援する」(18.0%)、「新たな投資制度を導入し、企業の資金調達の円滑化を図る」(16.5%)が第2位、第3位となり、以下「融資制度を拡充する」(15.5%)、「新製品開発やデザイン開発を指導する」(14.7%)などの順となっている。

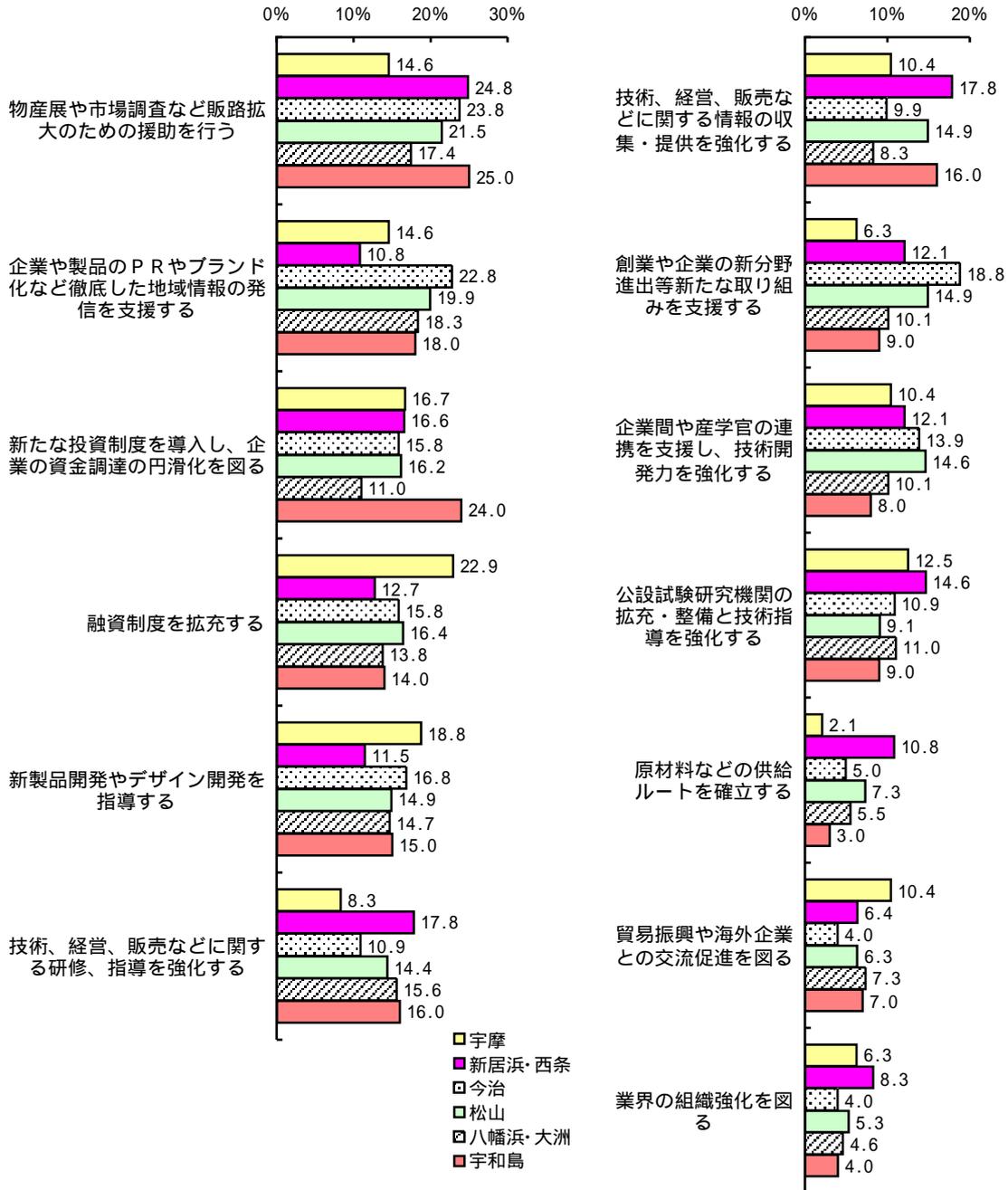
前回調査結果と比較すると、「融資制度を拡充する」答えた人の割合が6.9ポイント減少して第1位から第4位に降下し、「業界の組織強化を図る」(4.6ポイント)、「創業や企業の新たな分野進出等新たな取り組みを支援する」(4.4ポイント)、「技術、経営、販売などに関する情報収集・提供を強化する」(3.8ポイント)がそれぞれ減少している。



【生活圏域別】

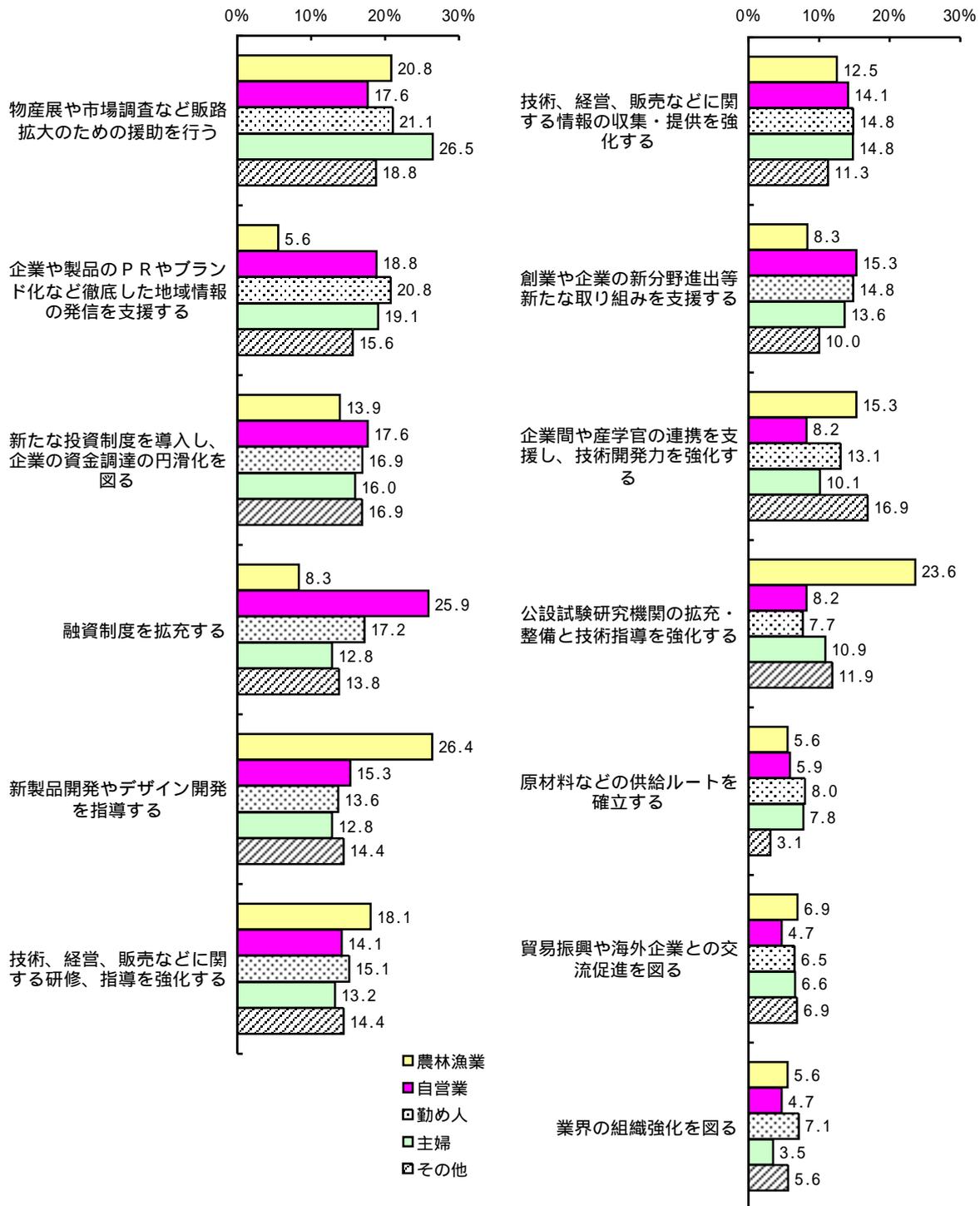
生活圏域別にみると、宇摩圏域は「融資制度を拡充する」と答えた人の割合が、八幡浜・大洲圏域は「企業や製品のPRやブランド化など徹底した地域情報の発信を支援する」が、その他の生活圏域では「物産展や市場調査など販路拡大のための援助を行う」が最も多くなっている。

また、「新たな投資制度を導入し、企業の資金調達の円滑化を図る」と答えた人の割合は宇和島圏域で、「新製品開発やデザイン開発を指導する」は今治圏域で、「創業や企業の新たな分野進出等新たな取り組みを支援する」は今治圏域で、「公設試験研究機関の拡充・整備と技術指導を強化する」は新居浜・西条圏域で、それぞれ他の生活圏域と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別の内訳により、中小企業の経営に最も関わりが深いと思われる自営業者の意見をみると、「融資制度を拡充する」と答えた人の割合が25.9%と最も多く、それ以外の職業と比較しても特になくなっており、次いで「企業や製品のPRやブランド化など徹底した地域情報の発信を支援する」（18.8%）、「物産展や市場調査など販路拡大のための援助を行う」と「新たな投資制度を導入し、企業の資金調達の円滑化を図る」（17.6%）などの順となっている。



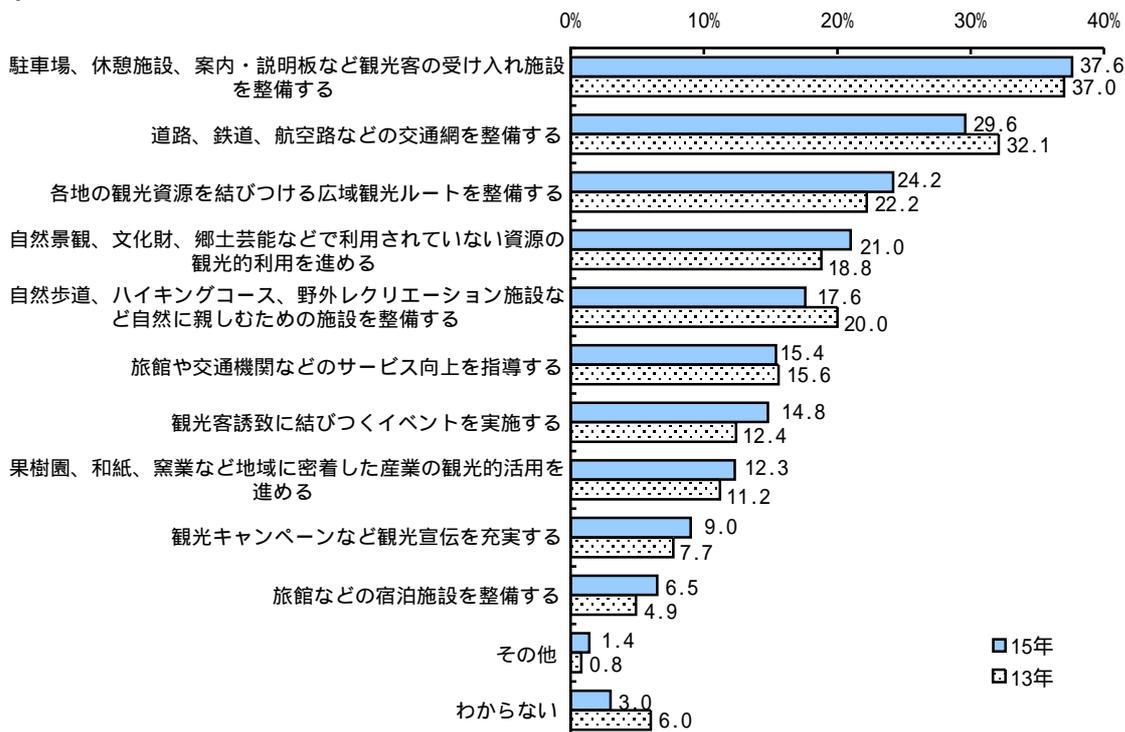
問25 観光対策

あなたは、愛媛県の観光を振興するためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を でかこんでください。

	(複数回答) (%)
1 道路、鉄道、航空路などの交通網を整備する	29.6
2 駐車場、休憩施設、案内・説明板など観光客の受け入れ施設を整備する	37.6
3 自然歩道、ハイキングコース、野外レクリエーション施設など自然に親しむための施設を整備する	17.6
4 旅館などの宿泊施設を整備する	6.5
5 旅館や交通機関などのサービス向上を指導する	15.4
6 各地の観光資源を結びつける広域観光ルートを整備する	24.2
7 自然景観、文化財、郷土芸能などで利用されていない資源の観光的利用を進める	21.0
8 果樹園、和紙、窯業など地域に密着した産業の観光的活用を進める	12.3
9 観光キャンペーンなど観光宣伝を充実する	9.0
10 観光客誘致に結びつくイベントを実施する	14.8
11 その他	1.4
12 わからない	3.0

愛媛県の観光振興のためには、県はどのようなことに特に力を入れたらよいと思うかを聞いたところ、「駐車場、休憩施設、案内・説明板など観光客の受け入れ施設を整備する」と答えた人の割合が37.6%と最も多く、以下「道路、鉄道、航空路などの交通網を整備する」(29.6%)、「各地の観光資源を結びつける広域観光ルートを整備する」(24.2%)、「自然景観、文化財、郷土芸能などで利用されていない資源の観光的利用を進める」(21.0%)、「自然歩道、ハイキングコース、野外レクリエーション施設など自然に親しむための施設を整備する」(17.6%)、などの順となっている。

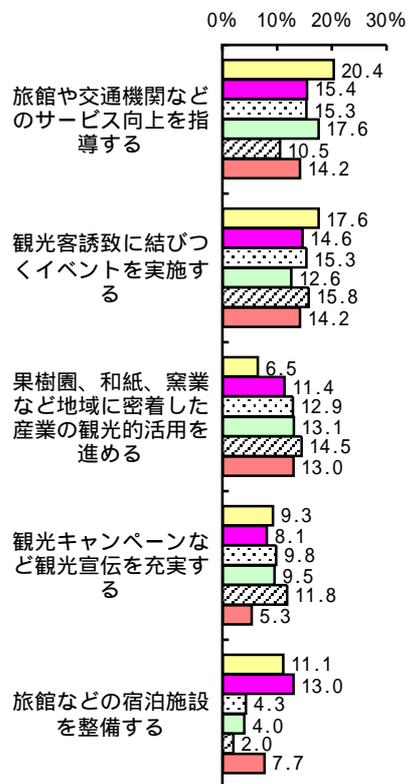
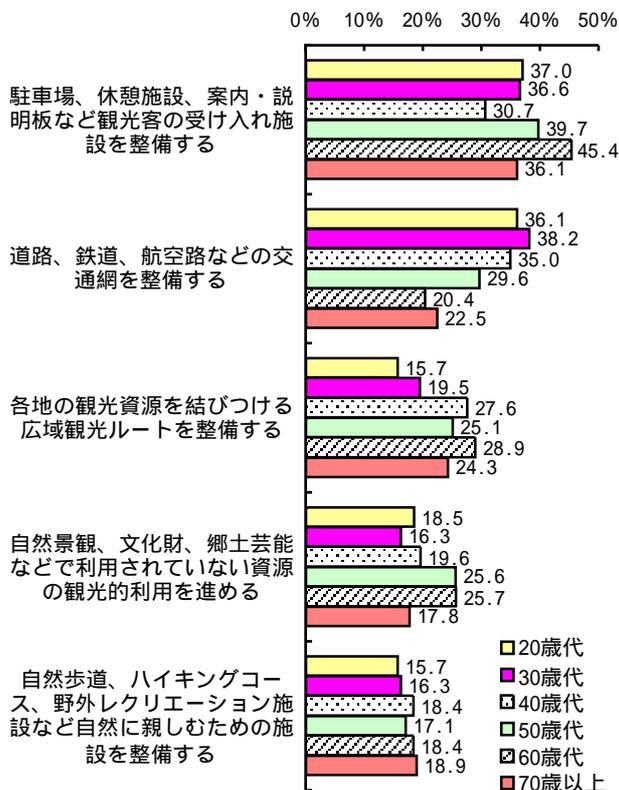
なお、前回調査結果と比較しても、割合・順位などに若干の変化は見られるが大きな変化は見られない。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代及び40歳代では「道路、鉄道、航空路などの交通網を整備する」と答えた人の割合が、それ以外の年齢層では「駐車場、休憩施設、案内・説明板など観光客の受け入れ施設を整備する」が最も多くなっており、中でも60歳代は他の年齢層と比較して45.4%と特に多い。

また、「各地の観光資源を結びつける広域観光ルートを整備する」、「自然景観、文化財、郷土芸能などで利用されていない資源の観光的利用を進める」と答えた人の割合は40歳代以上で、「旅館などの宿泊施設を整備する」は30歳代以下で、比較的多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇和島圏域では「道路、鉄道、航空路などの交通網を整備する」と答えた人の割合が、それ以外の生活圏域では「駐車場、休憩施設、案内・説明板など観光客の受け入れ施設を整備する」が最も多くなっている。

また、「各地の観光資源を結びつける広域観光ルートを整備する」と答えた人の割合は新居浜・西条圏域及び今治圏域で、「旅館や交通機関などのサービス向上を指導する」は宇摩圏域で、他の生活圏域と比較して多くなっている。

